

# 平成27年4月期 第2四半期決算補足資料

平成26年12月9日

## 1

**通期業績について**

① 業績予想の概要	.....	3
② 各ホテルの魅力を高める取り組み	.....	4
③ 連結売上高	.....	5
④ 連結営業利益	.....	6
⑤ 連結減価償却前営業利益	.....	7
⑥ 連結経常利益	.....	8
⑦ 株主優待制度	.....	9

## 2

**補足資料**

① 第2四半期(累計期間)の業績	.....	11
② 会社概要	.....	13
③ 運営ホテル一覧	.....	14
④ 沿革	.....	15
⑤ 財務の状況	.....	16

1

通期業績について

2

補足資料

## 平成27年4月期通期連結業績予想（平成26年5月1日～平成27年4月30日）

	売上高	営業利益	減価償却前 営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期業績 予想	<b>18,367</b>	<b>824</b>	<b>1,939</b>	<b>986</b>	<b>600</b>	<b>62.72</b>
前期実績 (平成26年4月期)	<b>17,645</b>	<b>593</b>	<b>1,634</b>	<b>774</b>	<b>418</b>	<b>44.41</b>
対前期増減額	<b>722</b>	<b>230</b>	<b>305</b>	<b>211</b>	<b>182</b>	—
対前期増減率(%)	<b>4.1</b>	<b>38.8</b>	<b>18.7</b>	<b>27.4</b>	<b>43.5</b>	—

- 第2四半期(累計)連結業績の結果を受け、通期業績の予想数値についても最近の業績動向を反映
  - 下期は大規模な設備投資計画は無く、上期の改装が下期業績に貢献
- 下期に向けた取り組み
  - 浅草、成田、高崎の各ビューホテルで今期第2四半期迄に実施した婚礼施設のリニューアルを武器とした婚礼組数の増強
  - 訪日外国人旅行客集客の更なる強化、特に富裕層個人客(浅草ビューホテル、成田ビューホテル)
  - レベニューマネジメントの更なる強化による宿泊単価アップと稼働率の向上  
(注:レベニューマネジメントとは、需要動向予測に基づくプラン料金設定による宿泊予約管理方法の事)
- 1株当たりの配当は、従来の予想(期末配当16円)を下限として予想

主な設備投資の状況

平成26年

上期の設備投資が下期の業績に貢献



秋田ビューホテル

- ・12Fレストラン改装  
スカイグリルbuffeレストラン  
「空桜～SORA～」  
オープン



スカイグリルbuffeレストラン  
「空桜～SORA～」

成田ビューホテル

- ・10F、11F  
客室改装



改装した客室

高崎ビューホテル

- ・チャペル改装

おくたま路

- ・館内リニューアル

浅草ビューホテル

- ・B1、2F改装  
B1 - プライズルーム新設  
2F - プライダルサロン改装



2F プライダルサロン

成田ビューホテル

- ・チャペル改装



新チャペル「ラ・プリエール」

おくたま路

- ・大浴場の温泉化



浅草ビューホテル

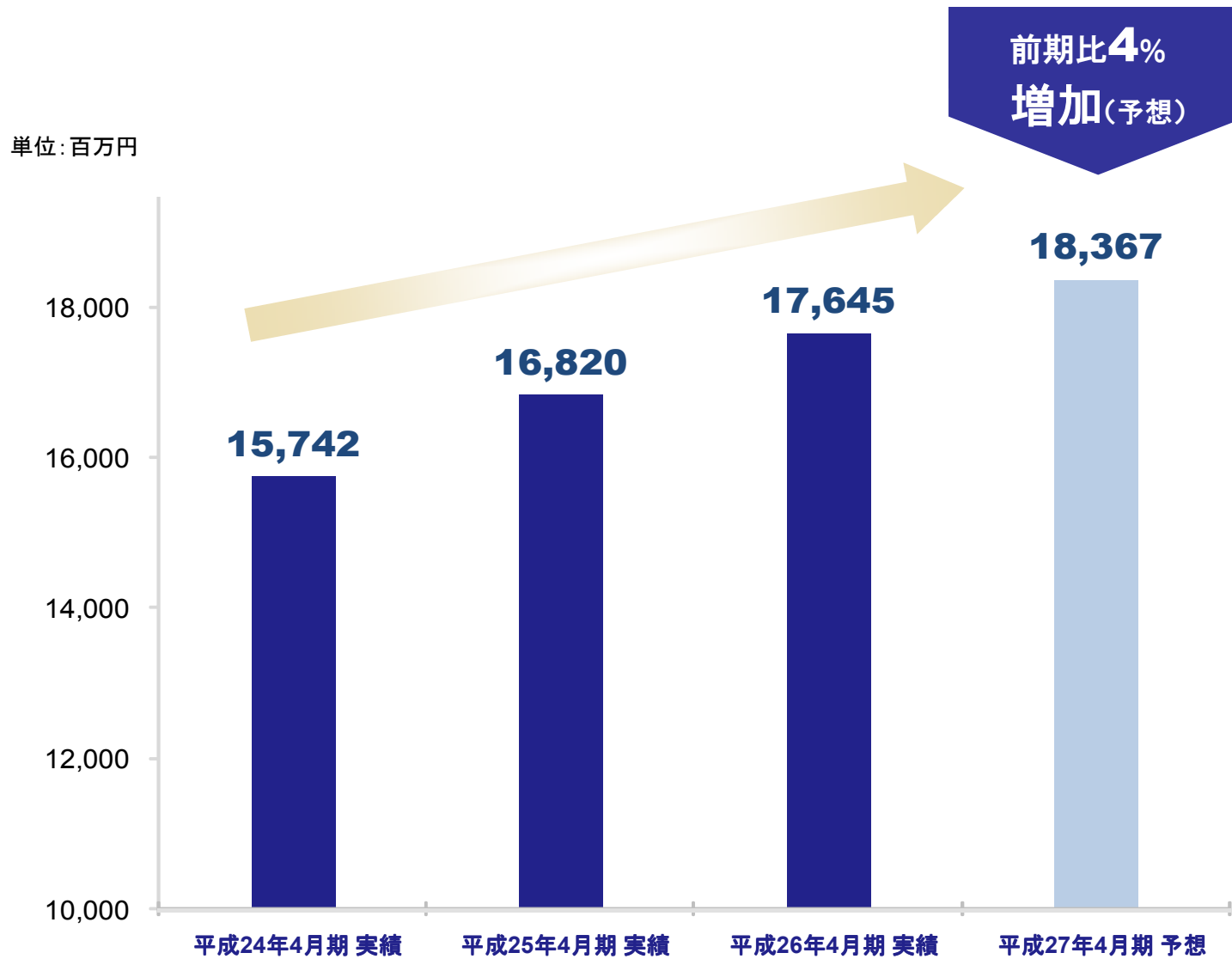
- ・3F改装  
3F - 宴会場改装  
神前式場改装

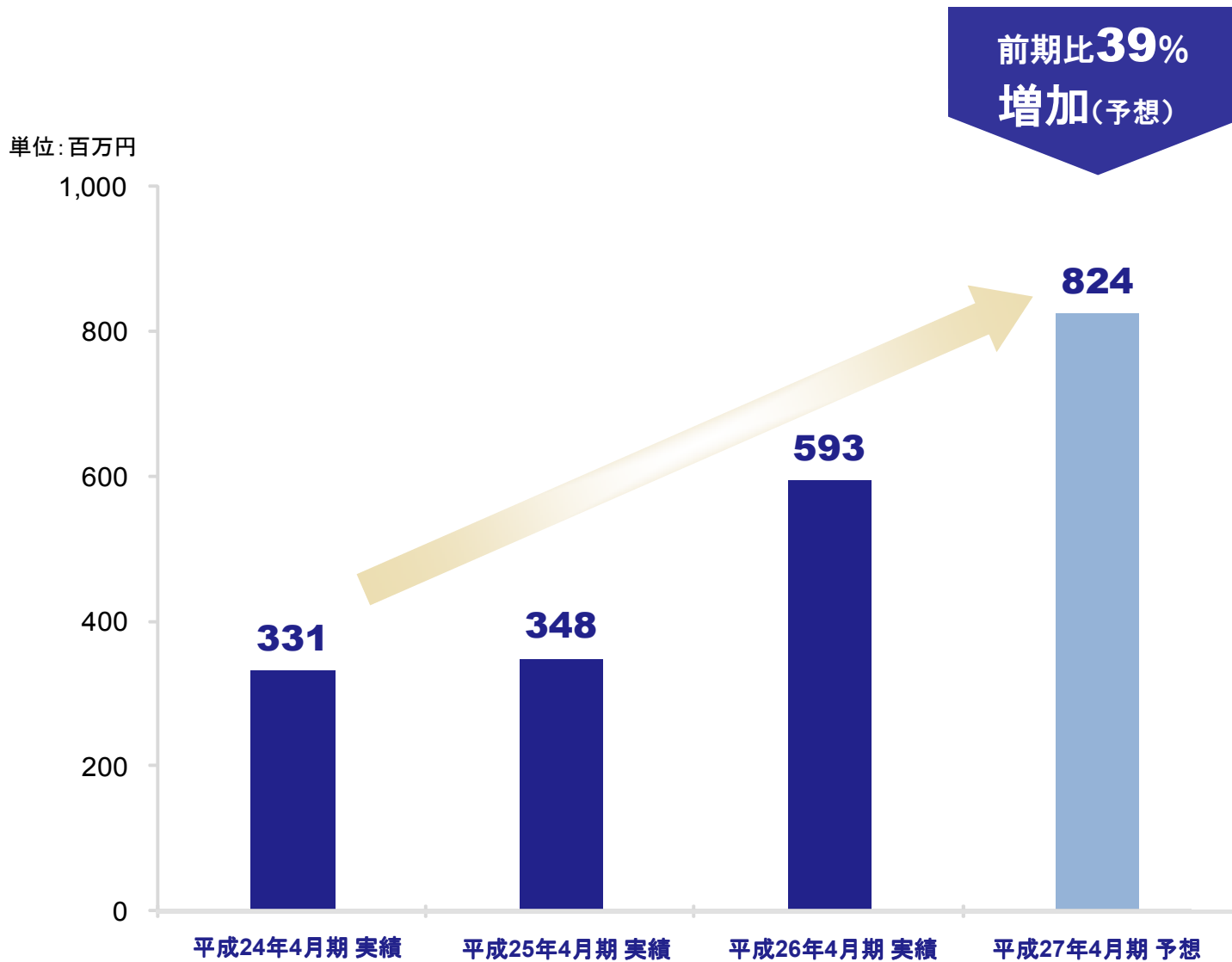


3F 宴会場

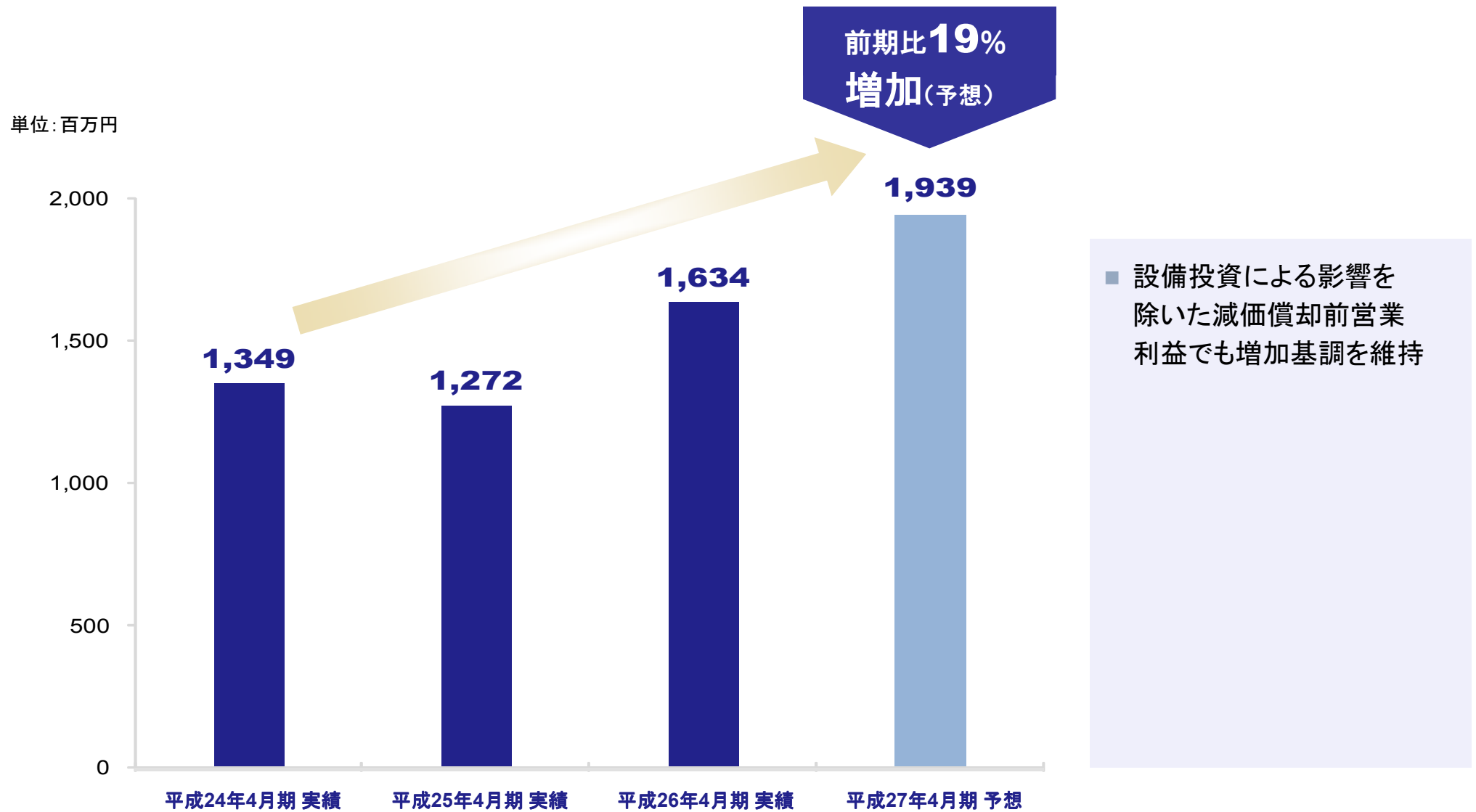


神前式場



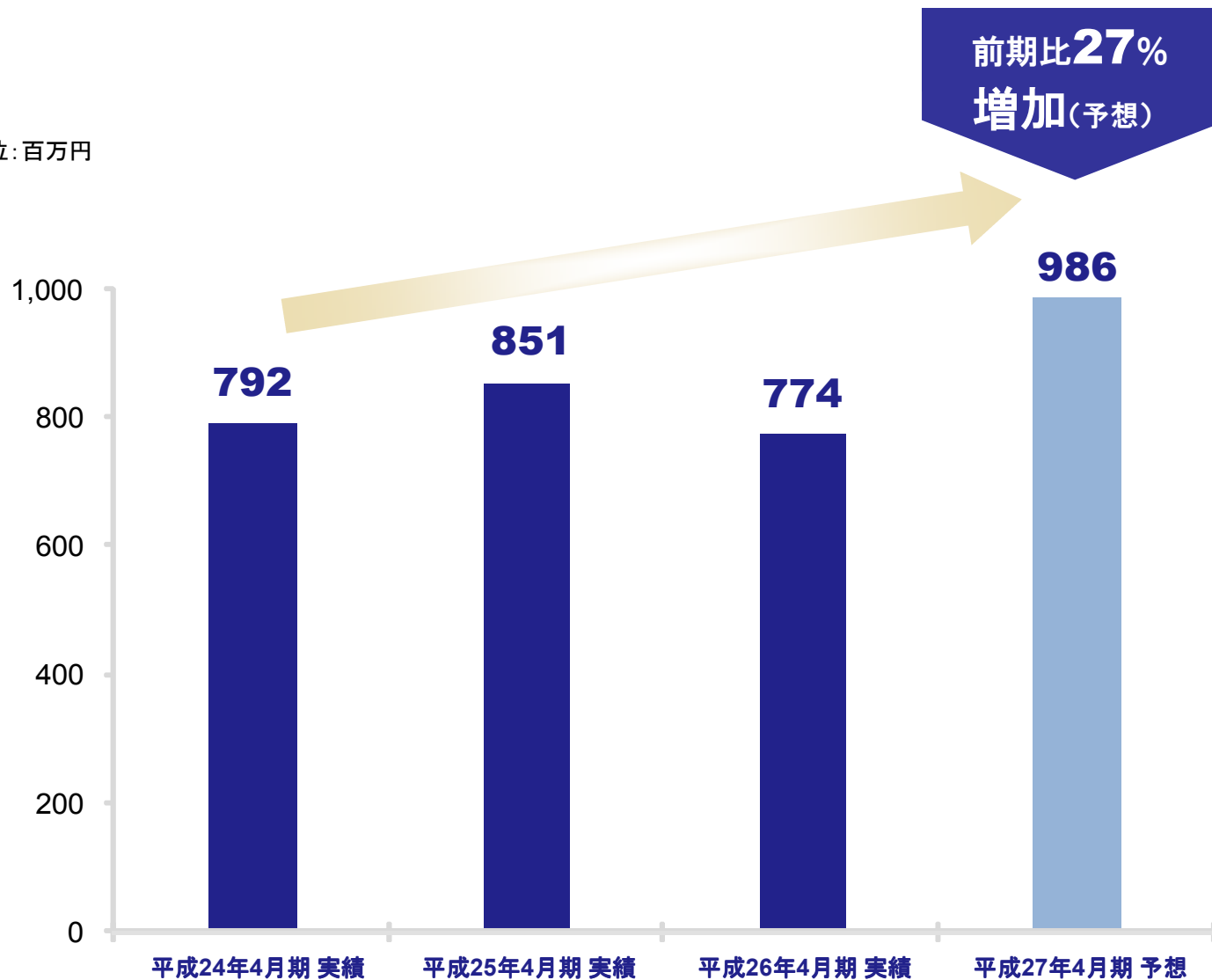


- 平成27年4月期通期業績予想は、売上高の伸びに伴い前期比で39%増加する見通し
- 客室稼働率や宿泊単価の上昇などが営業利益の増加に寄与
- 営業利益率は前期3.4%から今期4.5%へ上昇する見通し





単位:百万円



- 平成27年4月期通期業績予想は、売上高および営業利益の伸びに伴い、前期比では27%増加の見通し
- 原子力発電所事故の風評被害に係る逸失利益補償金の状況 (百万円)※

※

平成24年4月期	平成25年4月期	平成26年4月期	平成27年4月期 予想
520	579	242	229

## 平成27年4月期末の基準日より株主優待制度を導入 株主還元を目的として株主優待制度の導入を決定しました。

### 対象となる株主様

毎年4月30日と10月31日現在の株主名簿に記載された当社1単元(100株)以上を保有されている株主様

### 優待対象施設と優待内容

保有株式数	優待内容
100株以上300株未満	500円割引券 4枚(2,000円相当)
300株以上500株未満	500円割引券 6枚(3,000円相当)
500株以上	500円割引券 10枚(5,000円相当)
優待対象施設	優待対象内容
浅草ビューホテル、成田ビューホテル、秋田ビューホテル、高崎ビューホテル、伊良湖ビューホテル、ホテルビューパレス、ぎょうけい館、ホテルプラザ菜の花、グリーンパール那須、おくたま路	宿泊、レストラン、宴会、婚礼
那須りんどう湖LAKE VIEW	入園料、レストラン

### 有効期間及び贈呈時期

- 割引券の有効期間は6ヶ月間
- 毎年7月下旬と1月下旬の発送を予定

### 株主優待制度の開始時期

平成27年4月30日現在の株主名簿に記載された当社株式1単元(100株)以上を保有される株主様を対象として開始

1

通期業績について

2

補足資料

## 平成27年4月期第2四半期(累計)連結業績(平成26年5月1日～平成26年10月31日)

## 連結損益計算書

	売上高	営業利益	減価償却前 営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
平成27年4月期 第2四半期累計実績	百万円 <b>9,005</b>	百万円 <b>392</b>	百万円 <b>923</b>	百万円 <b>591</b>	百万円 <b>356</b>	円 銭 <b>37.40</b>

- 消費増税の反動からの回復が鈍く、主に宴会、婚礼、レストランの売上に影響
- 夏季の天候不順や週末の台風上陸が集客に影響  
主に那須りんどう湖 LAKE VIEWやリゾートホテル、シティホテル(レストラン)に影響
- 原子力発電所事故による風評被害の影響からの回復が想定より遅延(主に団体集客に影響)
- 原子力発電所事故による風評被害に伴う逸失利益に対する補償金229百万円を営業外収益に計上

平成27年4月期第2四半期(累計)連結業績(平成26年5月1日～平成26年10月31日)

連結貸借対照表

単位:百万円		平成27年 4月期 第2四半期 累計	平成26年 4月期	増減額	増減率(%)
流動資産	現金及び預金	2,858	2,809	49	1.8
	売掛金	684	666	17	2.7
	その他流動資産	791	640	150	23.5
流動資産合計		4,334	4,116	218	5.3
固定資産	有形固定資産	16,806	16,117	689	4.3
	無形固定資産	1,420	1,425	△ 5	△ 0.4
	投資その他の資産	278	293	△ 14	△ 5.0
	固定資産	18,505	17,836	669	3.8
資産合計		22,840	21,953	887	4.0
負債	うち有利子負債(割賦含む)	6,178	5,939	238	4.0
	流動負債	3,595	3,649	△ 53	△ 1.5
	固定負債	5,411	5,154	257	5.0
負債		9,007	8,804	203	2.3
純資産	資本金	2,743	2,579	163	6.4
	資本剰余金	1,663	1,499	163	10.9
	利益剰余金	9,341	8,984	356	4.0
	その他	84	85	△ 0	△ 1.1
純資産		13,832	13,148	683	5.2
1株当たり純資産(円 銭)		1,436.62	1,394.17	—	—

- 浅草ビューホテル、成田ビューホテル  
および秋田ビューホテルの設備投資  
並びにおくたま路の取得とそれらに伴う  
借入が発生したことにより、固定資産  
および固定負債が増加
- 当期利益および新規上場に伴う公募増資  
を実施したことにより、純資産が増加

## 会社概要

会社名	日本ビューホテル株式会社	
所在地	東京都台東区西浅草3-17-1	
設立	昭和28年5月4日	
決算期	4月30日	
ホテル数	18ホテル(直営ホテル 10 / 提携ホテル 8)	
大株主	エムシーピースリー投資事業有限責任組合 52.2% 株式会社立飛ホールディングス 5.8% 名古屋鉄道株式会社 5.0% 日本ビューホテルグループ社員持株会 3.4%	
	平成25年4月期	平成26年4月期
売上高	16,820百万円	17,645百万円
営業利益	348百万円	593百万円
総資産	22,268百万円	21,953百万円
純資産	12,645百万円	13,148百万円
D/Eレシオ	0.52倍	0.45倍

## 事業概要

### ホテル事業

- ホテル事業の特徴は、「ホスピタリティ」、「地域密着型」、「ビュー(景色)」。
- 当社グループが有する経験およびノウハウを最大限に発揮すべく「VIEW HOTEL」ブランドによる直営(一部のホテルについては、土地・建物の賃借による直営)でのホテル経営を実施。
- シティホテル型とリゾートホテル型があり、客室の他、料飲施設、結婚式場、宴会場、会議室等を設置し、宿泊、料飲、宴会・婚礼の各部門の営業を実施。ホテルによってはスパや温泉などを設け、顧客が快適に過ごせるよう施設の充実を図っている。



### 施設運営事業

- 「VIEW HOTEL」ブランド以外のホテルや旅館の経営、ホテルや旅館、保養所の運営業務受託、運営指導を行っております。また、「VIEWHOTEL」ブランドを用いたFC契約によるチェーン展開も実施。
- 賃借による運営では、賃借した土地・建物において当社グループによる直営方式でのホテルや旅館の経営を実施。運営委託者の要望に応じて、委託料を受領し運営業務を受託する形態での運営受託やホテル・旅館経営のノウハウを提供する運営指導も。



### 遊園地事業

- 栃木県那須高原に位置するレジャー施設である那須りんどう湖 LAKE VIEW (旧りんどう湖ファミリー牧場)を運営。
- 自然に恵まれた広大な園内に那須高原唯一の湖を有し、各種の動物、乗物、アトラクション、レストラン等を設置するとともに多彩なイベントの開催により、那須高原を代表するレジャー施設として認知。



関東圏を中心に18ホテル(提携含む)を運営

ホテル事業



施設運営事業

※下記の他、旅館1施設、保養所1施設の運営業務受託



年月	概要
昭和28年 5月	那須観光(株)設立
昭和35年 7月	那須ビューホテル開業
昭和39年11月	那須興業(株)設立
昭和40年 6月	りんどう湖ファミリー牧場営業開始(那須興業(株))
昭和41年12月	日本ビューホテル(株)に商号変更
昭和43年 5月	伊良湖ビューホテル開業
昭和49年 6月	成田ビューホテル開業
昭和52年 8月	ホテルビューパレス開業
昭和52年10月	日本ビューホテル事業(株)設立
昭和53年 5月	郡山ビューホテル開業

年月	概要
昭和58年 4月	高崎ビューホテル開業
昭和59年 5月	秋田ビューホテル開業
昭和60年 9月	浅草ビューホテル開業
平成 3年 7月	郡山ビューホテルアネックス開業
平成13年 9月	民事再生手続を申立
平成17年 8月	民事再生手続終結決定
平成19年12月	エムシーピースリー投資事業有限責任組合による出資
平成24年 3月	再生債務を期限前完済
平成26年 7月	東京証券取引所市場第二部に上場
平成26年 7月	清流の宿 おくたま路開業



## 連結損益計算書

単位:百万円	平成24年 4月期	平成25年 4月期	平成26年 4月期	平成27年 4月期 第2四半期 累計
売上高	15,742	16,820	17,645	9,005
売上原価	4,233	4,351	4,566	2,249
売上総利益	11,509	12,468	13,078	6,755
販売費・一般管理費	11,177	12,119	12,484	6,362
営業利益	331	348	593	392
営業外収益	611	667	327	275
営業外費用	151	164	146	76
経常利益	792	851	774	591
特別利益	71	11	2	0
特別損失	86	304	167	127
税金等調整前当期純利益	777	558	609	464
法人税、住民税及び事業税	711	152	237	80
法人税等調整額	△631	1	△46	27
少数株主損益調整前	697	404	418	356
少数株主利益	2	-	-	-
当期純利益	694	404	418	356

## 連結貸借対照表

単位:百万円	平成24年 4月期	平成25年 4月期	平成26年 4月期	平成27年 4月期 第2四半期 累計
現金及び預金	4,267	3,344	2,809	2,858
売掛金	727	722	666	684
その他流動資産	715	760	640	791
流動資産合計	5,711	4,827	4,116	4,334
有形固定資産	13,987	15,596	16,117	16,806
無形固定資産	1,439	1,436	1,425	1,420
投資その他の資産	372	408	293	278
固定資産	15,799	17,440	17,836	18,505
資産合計	21,510	22,268	21,953	22,840
うち有利子負債(割賦含む)	5,569	6,519	5,939	6,178
流動負債	4,008	3,676	3,649	3,595
固定負債	5,261	5,946	5,154	5,411
負債	9,270	9,622	8,804	9,007
資本金	2,579	2,579	2,579	2,743
資本剰余金	1,500	1,499	1,499	1,663
利益剰余金	8,161	8,565	8,984	9,341
その他	0	1	85	84
純資産	12,240	12,645	13,148	13,832

この資料は投資家の参考に資するため、日本ビューホテル株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、提出日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

この資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、この資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。